

株式会社 **菅原組** **社報**

**50**  
2023.11



# おかげさま



◎ **現場レポート**

**吉岡漁港機能保全工事(浚渫)(補正明許)**

◎ **社員インタビュー**

◎ **職場体験** 函館五稜郭中学校  
**職業講演会** 函館亀田中学校

◎ **社会貢献活動**

**クレンジンググリーン作戦 & 南かやべ植樹**

◎ **菅原組 秋のウォーキングバトル終了**

◎ **菅原組7つの健康行動(+1)「ウォーキング」**

◎ **インフルエンザワクチン接種について**







**CHECK!**  
Construction Site Report

# 現場レポート



【工事名】

## 吉岡漁港機能保全工事 (浚渫) (補正明許)

【工事場所】北海道松前郡福島町  
(吉岡漁港)

今回の  
レポーター



現場代理人 兼 主任技術者

たかやま たかのり  
高山 隆寛

### 概要

泊地に漂砂が堆砂し、漁業活動に支障をきたしていることから、浚渫(しゅんせつ)により堆砂した土砂を除去し、安全な漁業活動を確保することを目的とした工事です。

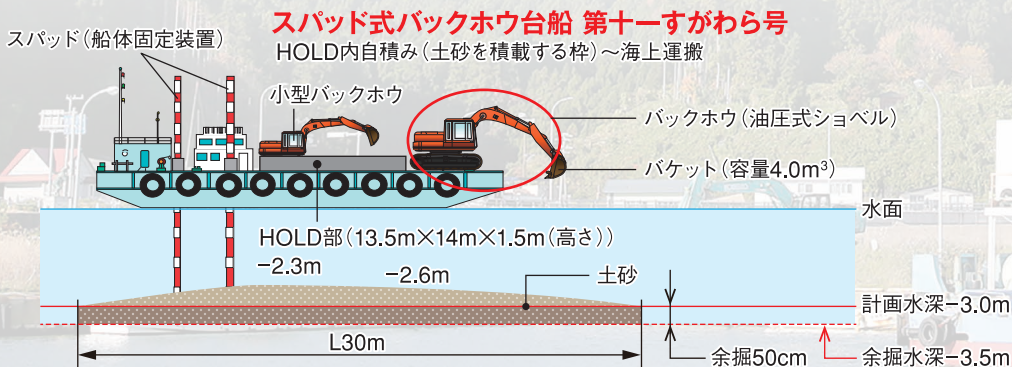
### 工期

令和5年10月3日～  
令和6年3月11日

### ■ なぜ港内の浚渫工事必要か

今回の工事内容は泊地(はくち: 港湾内で船舶が安全に停泊または荷役を行うことができる水面のこと)の浚渫の工事です。「浚渫(しゅんせつ)」とは、河川や港湾などで水底の土砂等を掘りあげる工事のことをいいます。吉岡漁港には河口があり、川から土砂が運ばれてきます。土砂は港内に溜まり水深が浅くなります。すると漁船の底が擦られたり、航行ができなくなる可能性が出てきます。そうならないよう土砂を取り除くことで、船の損傷や港内の安全を確保することができます。

吉岡漁港では土砂の流れ込みは常に起きており、一年で数十センチ堆積していきます。そのため毎年水深を調査し、継続して浚渫工事を行なっています。規模としては小さいものの、ここで暮らし漁業を営む方々にとって必要不可欠な工事です。





## 浚渫作業の様子



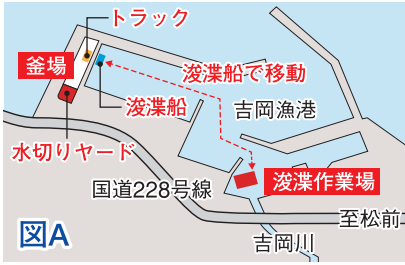
バックホウで海底から堆積した土砂を掘り上げます。

バケットに積まれた土砂。

HOLDに入れます。

均一になるようになります。

## 浚渫後の施工の流れ



船に積んだ土砂を「釜場」のある岸壁に運び、浚渫船からトラックへ土砂を積み替えます。この後「水切りヤード」へ土砂を搬送します。

「水切りヤード」のある釜場、ここで土砂を仮置きします。

その後土砂の水が切れたら、町指定の「土捨場」に運び管理します。

## 浚渫工事の流れ (図A:現場見取り図参照)

作業で使用する船は460t・スパッド式バックボウ台船「第十一すがわら号」という浚渫船です。作業当日、浚渫船は釜場のある岸壁から所定の浚渫作業場(30m×40m)に曳航され、そこで作業を行います。搭載されているバックボウ(油圧式ショベル)を使い水深-3mになるよう海底の土砂を取り除きます(実際は新たに流れ込む土砂を考慮して50cmの余掘を行うので余掘水深は-3.5m)。

船には13.5m×14m×1.5m(高さ)のHoldと呼ばれる土砂を積載する枠組があり、そこへ掘り出した土砂を入れます。そしてもう一台搭載されている小型のバックボウでならしながら所定の量になるまで土砂を入れます。ちなみに海底から一度に掘れる土砂の量(バケットの容量)は約4.0m<sup>3</sup>、Hold積載量は約250m<sup>3</sup>です。

Holdがいっぱいになったら釜場に戻り、そこで土砂をトラックに積み替え、更に水切りヤードと呼ばれる溝へ運び込みます。そこで一時保管します。この一連の作業を1日3回行います。

水切りヤードでは数日かけて土砂の水を切ります。その後水が切れたら町が管理している土捨場に運び、そこで再び保管します。

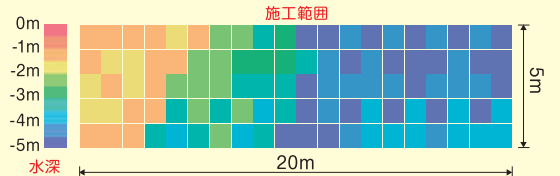
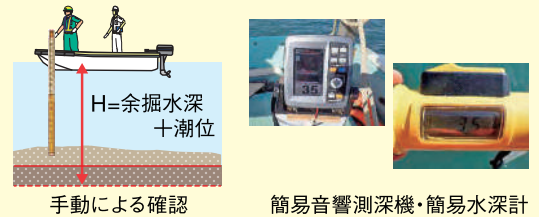
## 町の人々とのコミュニケーションの進め方

今回の現場で一番難しいのは地域の漁業活動を営んでいる方々とのコミュニケーションです。というのも港というのは漁師の方々が常に使用している場所です。港を安全にする工事ですが、漁業活動の妨げになってはいけません。漁は毎日決まった時間で行うものではなく、毎日海の状態などによって予定は変わります。そこで船の出入り等を漁協の協力のもと把握し、水揚げや出入港に配慮しながら行う必要があります。

そこで現在行っているのがグループLINEを使った「作業の見える化」です。現場に携わる全員が次の作業の流れを共有できないと作業が進みません。当日の朝礼ではどうしても伝え切れないところが出てくるので、前日のうちに船の動きや翌日の作業の流れを、わかりやすい内容で一斉送信しておきます。

こうすることで当日の作業の手を止めることなく現場がスムーズに動きます。最終的にそれが利益につながります。

## —水の深さはどうやって知る?—



水深を視覚化するカラーマッピングの利用(イメージ)  
(施工範囲をマス目状に区切り、水深で色分けします)

浚渫工事では施工範囲を浚渫するために、ICTを使ったマッピングソフトを活用します。水深の様子はカラーマッピングを行い視覚化します。こうすることでより正確な水深を調べることができます。

また、水深が計画通りに掘られたかを確認する必要があります。確認は浚渫後すぐに行います。浚渫した範囲のポイントを手動または音波探知機で測定をします。

## 今月の一言

大きな現場も小さな現場も同じ。  
朝きちんと来て、挨拶をし、  
事故がないように作業をする。  
普通のことを普通に行うのが大事。



## 社員インタビュー



第十八すがわら号

# 阿部 文男 (あべ ふみお)

### 入社のきっかけは？

地元は松前ですが、若い時は地元を離れており、22歳の時に帰ってきました。

当初は違う会社に勤めており潜水補助の仕事をしていました。

その会社で菅原組の仕事を請け負った際に声をかけられ、勤めていた会社からの勧めもあり24歳の時に菅原組へ入社しました。

### 第十八すがわら号での役割は？

オールマイティに色々な仕事をしています。

小型船舶を運転したり、ロープを引き船を固定したりしています。天候状況や現場により常にやるべき内容が変化し、その時の判断が必要になるので日々現場で経験を積みながら的確な対応ができるように努力しています。

### この仕事をする上で必要なスキルは？

自分のことだけでなく周りを見渡す力だと思います。

常に危険を伴っている仕事なので、周囲を見る力が必要だと思います。

危ないと感じたら早めに声がけをしたり、緊張感をもって仕事ができることが大切なんじゃないかなと思います。

### 職場の雰囲気は？

仲良しです。  
チームで仕事をしているのでお互いの信頼が必要です。

### 入社してよかったと思うポイントは？

福利厚生が充実しているので安心して仕事に打ち込めるところです。



地元の業者だということもとても良かったと思っています。

### 日頃の疲れはどのようにリフレッシュしていますか？

家を離れる時間が長いので、休みの日は自宅でゆっくりくつろいでいます。趣味の競馬を楽しんだりもします。

### これからの目標は？

定年まで怪我をしない様に働きたいです。

ちょっとした油断で大きな事故や怪我に繋がるので、これからも気を抜かずにやっていきたいですね。



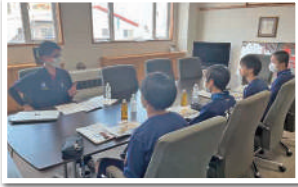
# 職場体験

## 函館五稜郭中学校

9月13日(水)・14日(木)/10月12日(木)  
 ●9月13日・14日：2年生 4名  
 ●10月12日：1年生 4名



五稜郭中学校の1年生と2年生計8名が職場体験に来ました。  
 本社で菅原組のことを座学で学んだ後は、現場へ出向き「コンクリートを均す作業」や「作業船の見学」「測量機械の紹介」などを体験してもらいました。  
 参加した生徒の多くが印象に残ったこととして「コミュニケーションの大事さ」をあげていました。様々な人が関わる建設業では、事故なく安全に仕事をする上でコミュニケーションがいかに大事かを学んだようです。



### 菅原常務より

五稜郭中学校は北浜町会内など地元の子どもたちが通う中学校ということもあり、建設業界、菅原組のファンになってほしいという想いで受け入れしています。  
 建設業界を知ってもらうことで、私たち自身のモチベーションアップにもつながると思います。継続して受け入れしていきますので、該当になった現場や担当の皆様、引き続きよろしくお祈り致します。

# 職業講演会

## 函館亀田中学校

11月10日(金) 13:30~15:30

亀田中学校1年生160名の生徒に職業講演会を実施しました。  
 今回は発注者である函館港湾事務所にもご参加いただき、菅原組、東鵬開発の計3団体で実施しました。

テーマは「**建設業ってどんな仕事?**」です。

- 建設業は「土木」と「建築」に分かれる
- 建設業には色々な業種があり、たくさんの方が関わる
- 豊かな人生にするには? 等

将来の職業を考えるにあたって建設業の魅力について分かりやすく伝えました。最初に「土木」についての説明と各社の仕事内容の説明、その後各クラスごとに「ドローン」「測量」「防波堤・岸壁」「消波ブロック」「重機」の各ブースを回り、それぞれ体験していただきました。



### 体験ブース



＜重機＞ブース

### 菅原組



＜消波ブロック＞ブース

### 函館港湾事務所



＜防波堤・岸壁＞ブース

### 東鵬開発



＜ドローン＞ブース



＜測量＞ブース

### 感想

当日は大雨で、外で体験する「重機」ブースに生徒が濡れないようテントを張るなど準備、運営が大変でしたが、生徒達の「すごい!」「おー」という元気な声に励まされました。積極的に質問したり、体験したり、生徒達が興味を持っている様子が各ブースでたくさん見れました。

この講演会を通じて一人でも多く建設業界に興味をもってもらえたら嬉しく思います(小藤)

### 菅原常務より

昨年に引き続き2回目の実施となりましたが、非常に活発な学生が多く、話がしやすかったです。今回は3団体での実施となりましたので段取りが大変でしたが、生徒のみなさんや先生から「勉強になりました、ありがとうございます!」と帰り際に言われました。これから他の学校でも受け入れてもらいつつ、他の会社も巻き込んで業界のイメージ作りに努めていきたいと思えます。引き続きご協力お願い致します。

また、ご覧の皆様で「うちの学校にも来てほしい」等ご要望がありましたらご連絡ください!



# 社会貢献活動

11月に入って急に気温が寒くなり、冬の訪れを感じるようになりました。雪が降る前に当社は2つの社会貢献活動を行いました。



## ① クリーングリーン作戦 10月15日(日) 8:00~9:00

今年度のクリーングリーン作戦が終了しました。ご参加いただいた皆さん有難うございました。冬期間は全体でのゴミ拾いはありませんが、街でゴミを見かけたら積極的に拾いましょう！



函館市白尻町の南かやべ地区(史跡垣ノ島遺跡)にて行われた植樹事業に参加しました。

今年はオオヤマザクラ17本を植えます。当社から7名と子供2名が参加し、皆で協力して取り組みました。来年の春に桜が咲くのが楽しみです(^^)

植樹の後は鮭の親子丼と三平汁・きのこ汁を頂きました。紅葉に囲まれて皆で食べるお昼ご飯はとても美味しかったです！

## ② 南かやべ植樹 10月28日(土) 11:00~13:30



① 植え穴を掘る (直径50cm、深さ50cm)



② 堆肥を混ぜた土を5cm程度穴に戻す



③ 苗木を植え、残った土を埋め戻す



④ 空気が入らないように上からしっかり押す



⑤ 鳥居型支柱(2本)を打ち込む



⑥ 支柱と苗木をひもで結束する



⑦ 完成(^^)



⑧ お昼は美味しい鮭の親子丼と2種類の汁♪



9月1日～10月31日  
(2ヶ月間)

# 菅原組 秋のウォーキングバトル

9月1日より2か月間取り組んできた「菅原組秋のウォーキングバトル」が10月31日に終了しました。累計歩数ランキングにより獲得できる健康ポイントが異なるため、最後の2週間はかなり白熱した展開となりました(^\_^;)結果、1位はなんと累計1,070,142歩(1日平均17,836歩)!また、11位までが1日平均10,000歩以上というハイレベルな戦いとなりました!

次回の「ウォーキングバトル」は来年4月～6月を予定しています。これから冬に入り外で歩くのは難しくなりますが、ジムを利用するなどしてウォーキングを継続し、健康維持に務めましょう。



皆さんお疲れ様でした

## 菅原組7つの健康行動 (+1) 日常から意識して生活習慣を見直しましょう!



毎日30分以上歩く

### ウォーキング

有酸素運動ができる手軽な運動がウォーキングです。**毎日30分以上歩きましょう!**  
有酸素運動では体脂肪がエネルギー源として使われるため、**肥満解消や血圧・血糖値の改善**に効果があります。また、健康面だけでなく**ストレス解消**にも効果的とされています。

「毎日の歩数を記録する」「景色の写真を撮る」「同好の方と交流する」などの楽しみを見つけることで長く続けることができます。  
近くのコンビニまで歩いたり、散歩したりと日常に取り入れてみましょう!



## インフルエンザワクチン接種について



今年度よりインフルエンザワクチン接種の**費用を全額会社負担**で行うことになりました。接種を希望される方は**健康経営推進統括部所**までお声がけ下さい。

インフルエンザワクチンには、**発熱やのどの痛み等の「発病」を抑える効果**が一定程度認められているほか、肺炎や脳症等の**「重症化」を予防する効果**も認められています。  
なお、この重症化については、特に基礎疾患のある方や高齢の方に現れる可能性が高いと考えられています。

※健康状態等によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種の検討をお願いします。



### インフルエンザ感染予防のポイント

- ✓ せき、くしゃみ、鼻水などの症状がある時のマスク着用
- ✓ 適度な湿度(50～60%)を保つ
- ✓ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ✓ こまめな換気
- ✓ インフルエンザワクチンの接種

今年は季節性インフルエンザが流行しています。例年12月から翌年の3月頃にかけて流行期を迎えますが、今年は感染の広がりが早いです。すでに警報、注意報レベルに達している地域も出ており、北海道は過去10年で最も早く注意報が発令されました。

**インフルエンザに感染しないために  
一人一人予防行動を心掛けましょう!**



株式会社 菅原組 社報

# おかげさま

Vol.50 2023年11月号

発行・企画：株式会社 菅原組  
〒040-0076 北海道函館市浅野町4番16号  
TEL:0138-44-3710 FAX:0138-62-3710

デザイン・印刷：株式会社 エルシープリント  
〒040-0072 北海道函館市亀田町6番7号  
TEL・FAX:0138-40-6686

## 編集後記



先日、「全日本高等学校吹奏楽大会」が横浜みなとみらいホールで開催され、姪が参加するので観に行きました。立派なホールで素晴らしい演奏を聴けてとても感動しました。

3年生なのでこれが本当に最後の演奏なので、ちょっと寂しいです😞

中華街や息子が楽しみにしていたハマスタ、スカイツリーにも行ってきました。人が多く、思うように動けなかったのですが、楽しかったです♪(成田)

## 2023はこだてクリスマスファンタジー



2022はこだてクリスマスファンタジー

毎年クリスマス時期に赤レンガ倉庫前に登場する巨大ツリー。函館港の海上に浮かぶツリーは幻想的で函館冬の風物詩です。ツリーを乗せる船を毎年用意しますが、今年は菅原組所有の台船を儀装して設置することになりました。ただいま12月1日(金)18:00の点灯式に向けて準備中です。皆さん楽しみにして下さい🎄

【開催期間】12月1日(金)～12月25日(月)

【場所】函館赤レンガ倉庫郡前海上

【ツリーイルミネーション点灯時間】16:30～17:45/18:00～22:00

【花火の打ち上げ】毎日18:00



## はこだてマジックアワー商店街 in 菅原組

開催日：11月7日(火) 15:30～18:30



今回はこれまでで最大の17店舗が出店。初出店も2店舗ありました！菅原組の駐車場はキッチンカーでいっぱい。風が強い日でしたが沢山の方にお越しいただきました。ありがとうございました(^^)



次回は**12月5日(木)** 15:30～18:30開催  
お楽しみに ●場所：菅原組本社駐車場(浅野町4-16)  
※車は空いているスペースにお停めください

## 告知

# 【令和6年 新年感謝の集い】開催

令和6年1月6日(土)に「令和6年新年感謝の集い」を開催致します。  
日頃会社を支えてくれる従業員と御家族様へ感謝の気持ちを込めて、「1年に1度くらいみんなで集まって一緒に楽しめる時間を共有したい」そんな想いで「新年感謝の集い」を毎年企画しています。  
コロナでしばらく開催できませんでしたが、来年は4年ぶりに開催となります。  
参加者全員に豪華賞品が当たるかもしれない大抽選会やマグロの解体ショー、塩ラーメンブース等、楽しい催しを予定しています。  
何かとご多忙かと思いますが、スケジュール調整の上、是非御家族お誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時：令和6年1月6日(土)  
16:00～19:00  
場所：函館湯の川温泉  
花びしホテル  
函館市湯川町1丁目16番18号